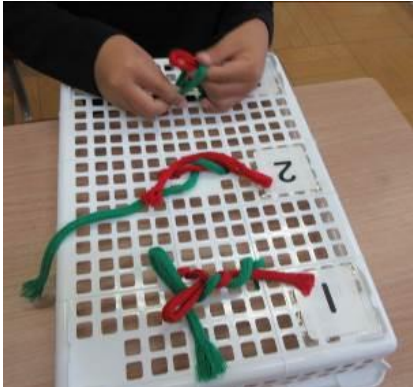



特別支援学級 実践事例

校種(学級の種別)	小学校 (知的障がい特別支援学級)	本事例の教科等名	自立活動
在籍児童生徒の実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・固結びや、二つ結び、ちょうちょ結びの結び方を知らなかった。</li> <li>・給食係りでごみ袋を結べなかったり、体育でなわとびの縄を結べなかったりした。</li> </ul>	<p>目標</p> <p>・</p> <p>指導内容</p>	<p>紐の色々な結び方を覚え、結ぶことができる。</p>
指導の経過・工夫点・子どもの変容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初は、教師が結び方の手本を見せたり、手を添えて児童と一緒に結んだりしながら結び方の確認を行い、結び方の見通しをもてるよう練習した。</li> <li>・次に、紐結びを最初の手順からするのではなく、最後の簡単な手順のみに取り組み、達成感を得られるようにした。できるようになれば、手順を増やしていき、スモールステップで取り組んだ。</li> <li>・慣れてきたら、紐の太さ、色、結び目の大きさ、紐を持つ場所など細かいところに注目して指導し、より効率よく、しっかりと結べる結び方の練習に取り組んだ。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">教師がちょう結びの輪を糸で縫って作っており、少ない手順からスタートできるようにしている。</p>		
成果と課題・今後の方向	<p>成果：一人で固結びや、二つ結び、ちょうちょ結びを結ぶことができた。また、同色の紐でも、混乱することなく結ぶことができた。</p> <p>課題：リボンやビニール袋など素材が違っててもできるよう、色々な素材で練習する必要がある。</p> <p>今後の方向：色々な素材、色々な場面（座って結ぶ、立って結ぶなど）を想定して、練習の場を設け、家庭でも取り組んでもらえるよう保護者に協力してもらう。</p>		